

## 中小企業神奈川県総決起大会・大会決議 ～ 東日本大震災、超円高、デフレに迅速に対応し、中小企業の支援を！ ～

我が国経済は、東日本大震災・原発事故等からの復興、最近の超円高等による産業空洞化問題、長引くデフレ克服の課題等を抱え非常に厳しい状況にある。

神奈川県経済も国と課題を共有しており、特に、中小企業においては、これらの影響を受けて、企業経営が極めて困難な危機的状況に陥っている。

このため、政府は現下の厳しい経済情勢を打破するため、円高、デフレ対策等に財政、金融等のあらゆる政治手段を切れ目なく果敢に実行し、将来不安を払拭すべきである。

中小企業の立場から、次の事項について重点的な政策の断行を強く求めるものである。

### 1つ **超円高・産業空洞化阻止へ強力な景気対策を！**

我が国経済は、東日本大震災による深いダメージに加えて、電力不足や急激な円高などから、製造業等の海外移転による国内生産の空洞化や雇用の悪化を招いており、地域経済とそれを支える中小企業を更に疲弊させている。このことは、大震災からの復活をめざす日本経済にとって大きな支障となっている。こうしたことから、国をあげて超円高・産業空洞化を阻止し、国際競争力をもった魅力ある国内産業立地環境の整備を早急を実施すること。

### 1つ **地域に活力を与える中小・小規模企業対策を！**

中小企業、とりわけ地域の小規模企業は、厳しい経営環境の中、この状況を乗り切るため、経営革新等競争力強化に必死で取り組んでいる。一方で地域コミュニティの維持活動を強化し、地域経済の活力を再生する「まちづくり」が急務である。そのため、災害対策、円高対策を盛り込んだ、中小企業の取り組みを支え、地域に活力を与える実効性ある支援対策を直ちに実施すること。

### 1つ **商店街の活性化・施設整備支援の拡充、強化を！**

商店街が地域コミュニティの核として、日頃から街づくりへの寄与、市民の便利で、快適、安全な生活の向上に貢献していることは言うまでもない。東日本大震災からの復興における商店街の果たす役割も非常に大きなものである。高齢者、買い物弱者への対応等、地域のきずなとしての商店街の活性化、災害にも強い商店街を中心とする街づくりへのソフト及びハードの両面の支援策を拡充、強化すること。

### 1つ **万全な資金繰り対策に向け継続・強化を！**

震災被害対策として特別貸付制度、緊急保証が創設されたが、復興には相当の時間を要することから、来年度以降も継続実施すること。また、デフレ下において、歴史的な円高状況となり、資金繰り対策が被災地だけに偏らないよう、セーフティネット保証の認定要件の拡大及び取扱期限の大幅な延長等、万全の対策を講じること。

以上決議する。

平成23年11月14日

(社)神奈川県商工会議所連合会  
神奈川県商工会連合会  
神奈川県中小企業団体中央会  
(公社)商連かながわ  
神奈川県商店街振興組合連合会